紙

666-6400-1013-16 TAC建築士講座

(目盛4.55mm)

設 計 課 題 「景勝地に建つ土間スペースのある週末住宅(木造2階建て)」

350mm

1. 設計条件

ある地方都市の湖の見える景勝地において、夫婦の共通の趣味である陶芸を楽しむこと のできる、土間スペースのある週末住宅を計画する。

計画に当たっては、次の①~⑤に特に留意する。 ①土間スペースは、趣味の陶芸製作や地元住民を招いた陶芸教室を開く工房として使用 し、東側道路に面して計画する。

②居間・食事室・台所において、居間部分は湖の眺望に配慮した配置とし、屋外テラス と直接行き来できるように計画する。 ③東側道路から玄関へのアプローチには、地域住民に配慮して、玄関ポーチまで屋外ス

ロープを設ける。

④床高等については、下表のとおりとする。 | 1階部分の各要求室(玄関ホールの土間部分、土間スペースを除く)及び屋 | 500mm 外テラスの床高(地盤面からの高さ) 玄関の土間部分、玄関ポーチの地盤面からの高さ 350mm

土間スペースの地盤面からの高さ ⑤建築物の耐震性を確保する。

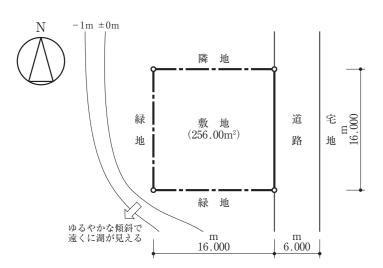
(1) 敷 地

ア. 形状、道路との関係、方位等は、下図のとおりである。

イ. 都市計画区域及び準都市計画区域以外の区域内にあるが、景観保全のため、建ペい 率の限度は50%、容積率の限度は100%とする。

ウ. 地形について敷地は平たんで、道路、隣地との高低差はない。また、地盤は良好で

エ. 電気、都市ガス、上水道及び公共下水道は完備している。



敷地図(縮尺:1/500)

(2) 構造、階数及び建築物の高さ

ア. 木造2階建とする。

イ. 建築物の最高の高さは10m以下、かつ、軒の高さは7m以下とする。

必ず「150㎡以上、190㎡以下」とする。 (床面積については、ピロティ、玄関ポーチ、屋外テラス、屋外スロープ、駐車スペー ス等は算入しないものとする。)

(4) 家族構成

夫婦(30歳代)、子ども2人(幼稚園児)

下表のすべての室は、必ず指定された設置階に計画する。

	設置階	室	名	特 記 事 項	床「	面 積
	1 階	土間ス・	ペース	ア. 玄関を兼ねるものとする。 イ. 玄関部分に下足入れを設ける。 ウ. 和室から直接行き来できるようにする。 エ. 上部に吹抜け(4 ㎡以上)を設ける。 オ. テーブル(椅子計8 席分)を 2 卓、流し台(900 mm×450mm)、陶芸作品を乾燥させる棚(1,500 mm×450mm)及び電気窯設置スペース(1,500mm ×1,200mm)を設ける。	適	宜
		倉	庫	・土間スペースから使用し、陶芸の材料や道具等 を保管する。		
		和	室	ア. 広さは、心々3,640mm×2,730mm以上とする。 イ. 別に押入れを設ける。	l .	:以上 を除く)
		居 食 も	間 至 所	ア. 1室又は2室にまとめてもよい。イ. 食事室には、テーブル及び椅子(計4席以上)を設ける。ウ. PCコーナーを設ける。	適	宜
		洗面脱浴	太室 室	・広さは、心々1,820mm×2,275mm以上とする。		
		納		2,2 (10) 1 1,020mm 2,210mm0/12 C / 00	4 m	以上
		便 所	(1)	・広さは、心々1,820mm×1,820mm以上とする。	適	宜
		夫 婦	寝 室	・洋室とし、ベッド(計2台)、ウォークインクロゼット(4㎡以上)を設ける。	適宜	
	2	書	斎	ア. 洋室とし、机及び椅子を設ける。 イ. 夫婦寝室から出入りできるようにする。	,,,,,,	
	階	子ど	も室	ア. 子ども 2 人が使用する。 イ. 洋室とし、ベッド(計 2 台) 及び収納を設ける。		以上 を除く)
		便 所	(2)		適	官
		納	戸		,- <u>···</u>	-Д.

(6) 屋外施設等

民州に下丰の人のを計画する

定外に「衣のものを可回する。				
屋外テラス	ア. 居間・食事室・台所の居間部分から直接行き来できるようにする。 イ. 10㎡以上とし、まとまったスペース(少なくとも、直径1.5m以上 の円が1つ入るスペース)とする。			
屋外スロープ	ア. 勾配は1/12以下、有効幅員は1,200mm以上とし、踊り場を設ける場合は、踏幅1,500mm以上とする。 イ. スロープの下端と上端には、奥行1,500mm以上の平場を設ける。なお、上端の平場は玄関ポーチと兼用してもよい。 ウ. 安全に配慮し、手すりを設ける。			
駐車スペース	・1台分の駐車スペースを設ける。			

要求図書	<u> </u>
)、答案用紙の定められた枠内に記入する(寸法線は、枠外にはみだして
	」よい)。 }筆仕上げとする(定規を用いなくてもよい)。 〕単位は、mmとする。なお、答案用紙の1目盛は、4.55mm(部分詳細図(断面)
にあっては	t、10mm)である。 ウス対策のための機械換気設備等は、記入しなくてよいものとする。
要 求 図 書 ()内は縮尺	特 記 事 項
(1)1 階平面図	ア. 1階平面図兼配置図及び2階平面図には、次のものを記入する。
兼 配 置 図 (1/100)	・建築物の主要な寸法 ・室名等
(2)2階平面図	・「通し柱」を○印で囲み、「耐力壁」には△印を付ける。 (注)「耐力壁」とは、筋かい等を設けた構造上有効な壁をいう(以下 同じ)。
(1/100)	・断面図の切断位置及び方向
	イ. 1階平面図兼配置図には、次のものを記入する。
	・敷地境界線と建築物との距離 ・道路から建築物へのアプローチ、駐車スペース、屋外スロープ、 門、塀、植栽等
	・道路から敷地及び建築物への出入口には、▲印を付ける。 ・屋外テラスには、直径1.5m以上の円(破線にて明記する。)
	・各要求室(居間・食事室・台所、和室)の床高、土間スペース、玄関ポーチ、屋外テラスの地盤面からの高さ
	・土間スペース…流し台、棚、テーブル、椅子、電気窯設置スペース(破線にて明記する。)、玄関部分に下足入れ、
	吹抜部分の範囲(一点鎖線にて明記する。) ・居間・食事室・台所…テーブル、椅子、台所設備機器(流し台・
	調理台・コンロ台、冷蔵庫等) ・便所(1)…洋式便器、手洗い器
	・洗面脱衣室…洗面台、洗濯機 ・浴室…浴槽
	ウ. 2階平面図には、次のものを記入する。
	・1 階の屋根伏図(平家部分がある場合) ・部分詳細図(断面)の切断位置及び方向
	・子ども室…ベッド ・夫婦寝室…ベッド
	・書斎…机、椅子 ・便所(2)…洋式便器
(3) 2 階床伏図	ア. 主要部材(通し柱、1階及び2階の管柱、胴差、2階床梁、桁、
兼 1階小屋伏図	小屋梁、火打梁、棟木、母屋、小屋東など必要なもの)については、 凡例の表示記号にしたがって記入し、断面寸法(小屋東を除く。)
(1/100)	を凡例欄に記入する。ただし、主要部材のうち、平角材又は丸太 材としたものについては、その断面寸法を図面上に記入する。な
	お、根太及び垂木については、記入しなくてよい。 イ. 2階床伏図において、火打梁の代わりに、構造用面材による床組
	とする場合には、胴差、床梁、桁を記入したうえで構造用合板の厚さ、釘の種類・打付け間隔を明記する。
	ウ. その他必要に応じて用いた表示記号は、凡例欄に明記する。
(4)立 面 図	エ. 建築物の主要な寸法を記入する。 ア. 東側立面図とする。
(1/100)	イ. 建築物の最高の高さを記入する。 ウ. 屋外テラス及び屋外スロープについては、外観で見える場合に記
(5)断 面 図	入する。ただし、手すりについては記入しなくてよい。 ア. 切断位置は、東西方向とし、土間スペース及び1階・2階それぞ
(1/100)	れの開口部を含む部分とする。 イ. 建築物の外形、床面及び天井面の形状がわかる程度のものとし、
	構造部材(梁、基礎等)、見え掛かりの開口部、階段等(室の対向 に見えるもの)については、記入しなくてよい。
	ウ. 建築物の最高の高さ、軒高、階高、天井高、1階床高、開口部の内法寸法及び主要な室名等を記入する。
(6)部分詳細図(断面)	ア. 切断位置は、夫婦寝室の外壁を含む部分とする。 イ. 作図の範囲は、屋根及び軒裏の部分(天井の仕上面から下方に
(1/20)	1,000mm以上)とし、外壁の柱心から1,000mm以上とする。
	ウ. 主要部材(桁、小屋梁、母屋、垂木等必要なもの)の名称・断面寸 法を記入する。
	エ. 羽子板ボルト、ひねり金物等の名称・寸法を記入する。 オ. 外気に接している屋根、外壁、その他必要と思われる部分の断熱・
	防湿措置を記入する。 カ. 室名及び内外の主要な部位(屋根、外壁、内壁、天井)の仕上材料
(7)面 積 表	名を記入する。 ア. 建築面積、床面積及び延べ面積を記入する。
(・/ 四 1只 久	7. 建衆面積、水面積及び延べ面積を記入する。 イ. 建築面積及び床面積については、計算式も記入する。 ウ. 計算結果は、小数点以下第2位までとし、第3位以下は切り捨てる。
(8)仕 上 表	ア. 主要な屋根の勾配を記入する。 イ. 外部の主要な部位(屋根、外壁)の仕上材料名及び下地材料名を記
	入する。 ウ. 内部(居間・食事室・台所)の主要な部位(天井、内壁、床)の仕上
(9)計画の要点等	材料名及び下地材料名を記入する。 ・建築物及び敷地の計画に関する次の①~③について、具体的に記述
	する。 ①道路から建築物へのアプローチについて、工夫した点
	②土間スペースの計画について、工夫した点
	③2階の居室の配置について、工夫した点

